

情報通信審議会情報技術分科会 航空無線通信委員会
航空監視システム作業班第5回会合 議事要旨（案）

1 日時 平成20年2月26日(火) 15:00~16:35

2 場所 総務省9階 902会議室

3 出席者

(1) 構成員(敬称略)

南 正輝(主任代理：芝浦工業大学)、
安達 靖人(代理：上野 誠)((株)JALインフォテック)、
伊地知 章(代理：岩井 亘)(国土交通省)、伊藤 達郎(全日本空輸(株))、
伊野 正美((株)東芝)、大串 盛尚(アビコム・ジャパン(株))、
小瀬木 滋((独)電子航法研究所)、近藤 天平(日本電気(株))、
志田 命彦((株)NTTデータ)、
島村 定夫(代理：木ノ原 正一)(日本貨物航空(株))、
鷹觜 清一((株)テレキュート)、津幡 岳弘(防衛省)、畑 清之(三菱電機(株))、
平田 俊清(RAエンジニアリングハウス)、

(2) 説明者(敬称略)(航空無線通信委員会 運営方針 第5項に基づく出席)

宮崎 裕己((独)電子航法研究所)

(3) 事務局

衛星移動通信課 坂中企画官、佐渡山課長補佐、馬場航空係長

4 議事概要

南主任代理から開会の挨拶、事務局から配付資料の確認を行った後、南主任代理により議事が進められた。

(1) 前回議事要旨の確認について

事務局から資料 10-S 作 5-1 に基づき、航空監視システム作業班(第4回)会合の議事要旨について説明が行われた。

(2) 航空監視システムの技術動向に係る国際会議等の結果等について

ア ITU 世界無線通信会議(WRC-07)の結果について

事務局から資料 S 作 5-2 に基づき、世界無線通信会議(WRC-07)の結果について説明が行われた。

イ ICAO 航空監視パネル(ASP)ワーキンググループの報告について

小瀬木構成員から資料 S 作 5-3 に基づき、ICAO 航空監視パネル(ASP)ワーキンググループについて報告が行われた。

以上の説明に対する質疑応答は以下のとおり。

平田構成員 : A C A Sのアルゴリズムの改良について、異なるアルゴリズムを有する航空機は、相互に対応できないものと認識しているが、本件A C A S改良案について詳細を明らかにされたい。

小瀬木構成員 : 本件は、片方の航空機がA C A Sの指示に従い、もう一方の航空機がA C A Sの指示に従わなかった場合に備え、アルゴリズムのごく一部を改良するものである。

本件A C A S改良案については、当該ワーキンググループ参加者から報告があったものであり、試験の結果では従来のアルゴリズムとの共用性は確認されている。

また、別に、軍用輸送機向けのA C A Sの実現についても報告があったが、民間と同等のアルゴリズムを使用予定である旨の説明があったため、ご指摘事項については特段問題ないものと判断する。

(3) 今後の検討事項等について

ア ADS-B以外のSSR等の見直しについて

事務局から、ADS-B以外のSSR等の見直しについて検討状況の説明が行われ、小瀬木構成員から、資料S作5-4に基づきICAO SARPsの階層構造に係る補足説明が行われた。

イ MLAT（マルチラレーション）システムについて

MLAT（マルチラレーション）システムについて、(独)電子航法研究所 宮崎氏から資料S作5-5に基づき説明が行われた。

以上の説明に対する質疑応答は以下のとおり。

平田構成員 : 本件システムの検出率とは、「電波を受信できた割合」をいうのか、それとも「検出精度が基準値を満足していた割合」をいうのか、教えていただきたい。

宮崎氏 : 基本的には「電波を受信できた割合」であるが、検出誤りが大きい場合は未検出として処理するので、正確には「検出精度が基準値を満足している割合」とも言える。検出誤りが大きい場合は、ブラインド等により電波を受信できなかったケースがほとんどである。

南主任代理 : 検出精度については、受信局の増大で改善できるのか。

宮崎氏 : 地上の受信局を増大させれば、最適な配置を構成できる可能性が上がるため、結果として検出精度が向上する。

南主任代理 : レンジエラーが大きくでることはないのか。

宮崎氏 : 実験結果によると、マルチパス等により受信時刻が大きく変動することは少なく、ブラインド等の影響すなわち電波を受信できるか否かが大きな問題となっている。

津幡構成員 : 離陸直前等の航空機が高速で移動する場合、検出ポイントを確定することが難しいと考えるが、どのように対応するのか。

宮崎氏 : 本件システムは追尾処理を行っている。
 現在は、実運用に向けて追尾処理に係るパラメータを調整しているところある。

(4) 今後の検討の進め方について

事務局から資料 10-S 作 5-6 に基づき、今後の検討の進め方について説明が行われたところ、当該資料の方針が異論なく承認された。

(5) その他

事務局から今後のスケジュールについて説明が行われた。

【 配布資料 】	【 表 題 】	【 提出元 】
資料10-S作5-1	情報通信審議会情報通信技術分科会航空無線通信委員会 航空監視システム作業班第4回会合議事要旨(案)	事務局
資料10-S作5-2	I T U 世界無線通信会議 (W R C - 0 7) の結果	事務局
資料10-S作5-3	I C A O 航空監視パネル (A S P) 第3回 ワーキンググループ報告	国土交通省航空局
資料10-S作5-4	I C A O S A R P s の階層構造について	独立行政法人 電子航法研究所
資料10-S作5-5	M L A T (マルチラテレーション) システムの概要	国土交通省航空局
資料10-S作5-6	今後の検討の進め方 (案)	事務局